

ビートルズ来日画像ついに開示される

情報公開市民センター 理事長 新 海 聡

最高裁で判決が確定したのは2018年10月25日。それから4年の時を経て1966年のビートルズ来日時のフィルムがDVDとして開示された。立派に「昭和41年6月29日～7月3日 ザ・ビートルズ来日に伴う警備」というタイトルバックまでつけたモノクロ35分40秒の、警視庁関係者と、ホンの一部が使用された商業映画「エイトデイズアウィーク」制作関係者以外は誰も見たことのないはずの画像だ。たしかに、ビートルズ以外の容貌は個人情報として不開示とされ、モザイクとなっている。しかも音声は記録されていない。これまでの苦労は一体何だったのかという声もあろう。ところが、これが昭和の記録として、とても面白いのだ。まずはシーンからご説明しよう。

- (1) タイトルバックのあと、シーンは警備会議の映像になる。黒塗りのクラウンから次々に降り立つ警察幹部。黒板に貼られた武道館周辺と空港の地図を前に警察官で満員の会場で幹部が檄を飛ばす（ように見える。）。
- (2) シーンは6月29日 一行到着というタイトルバックが現れる。東京国際空港（羽田空港）の警備の様子やタクシーでかけつけたファンに帰るように説得する警察官の姿がある。しかし、実はビートルズの乗った飛行機は台風で遅れ、到着は午前3時40分になった、と文献にはある。
- (3) ついに来日。始まりから3分30秒。日航機（MATSUSHIMA）から降りるビートルズ。先頭はポール、次にジョン、リンゴ、ジョージ。おなじみの法被姿。しかし、ジョージの後を降りてくるブライアンエプスタインの顔にまでモザイクをかけることのないのに、とファンなら思うだろう。皆に手を振って、タラップを降りるとすぐに迎えのピンクのキャデラック（ピンクは文献で確認）に。45秒くらいの映像。（ここは警視庁のカメラマン張り切ったな。）
- (4) ホテル周辺の警備シーン 立て看板「ビートルズはファンの方とは会いません。すぐおかえり下さい 赤坂警察署長」がおかしい。実際にタクシーを追い返す映像も。日枝神社にもファンが。女性警察官に説得されるファン。「日英自動車整理線 検問と説得」というタイトルの画像のあとは、自動車販売会社の事務所内に誘導される女性ファン。英国製輸入車販売店がビートルズ警備に協力していたのだな。

- (5) 6月30日「竹橋周辺の検問と説得」とのタイトル。竹橋の上に警察官が一杯だ。竹橋側から武道館に近づこうとするタクシーを止めて帰るように説得。「武道館周辺の北の丸公園一帯の通行を禁止します。」との看板。堀に警戒艇まで出している。手こぎボートを帰そうと警戒艇が接近して説得。これが武道館に近づくために手こぎボートを出したファンなら、褒めたい気持ちになる。
- (6) いよいよ6月30日のコンサート。田安門の橋を渡る前にチケットのチェック。武道館の入り口を色で分けているのか、赤入り口とある。外国要人らしき者も入場（ただしモザイク）。16分ころ、ビートルズは黒いキャデラックリムジンで到着。16分40秒頃から演奏シーン。ジョンとジョージがマイクを分け合い59秒ころまで。その後、客席と思われる高い位置から撮影した映像となり、17分25秒ころ曲のエンディングが映されている。このあたり、アングルを変えた二つの映像を組み合わせるなど、「作品」としての工夫を感じるころではある。観客はしっかり座って聞いているように見える。しかし、1階のフロアーに制服の警察官が一杯。こんな状況でライブを行ったビートルズのプロ意識に感心する。退場者整理状況のシーンでは、会場の外で泣いているファンも。
- (7) 7月2日田安門の状況とのタイトルバック。 入場券を持った観客を会場に入れるシーンの後、19分56秒あたりから「亡国のビートルズ排撃 日本の伝統・・・(読めず)」という横断幕を貼った右翼の宣伝カーがカメラマンのいるところに突っ込み、警察官との問答が撮影されている。右翼のモザイクは薄め。会場入り口に「その筋のお達しにより、入場券、通行証、関係者記章を持たない方の入場は固くお断りします」との看板も時代を感じさせる。この時は国家公安委員長も到着した。
- (8) ビートルズ一行到着。パトカーに先導され、1台目の黒キャデラックリムジンからからメンバーが降りる（22分41秒）。昼の部終わり。ここでも泣いている少女。
- (9) 夜の部 警備部長と思われる背広が会場1階で腕を組んでいるシーンのあと、24分35秒あたりから25分10秒あたりまでライブの様子を撮影。音が聞こえてくるような映像だ。
- (10) 7月3日 空港地区検問の様子。バスで到着したファンが追い返される。このあたりから、カメラマンがより大胆に、ファンの容貌を大写しにする画像が増える。泣き顔を撮影されて顔を隠したり、警察官に言い返したりする女性ファンもある。その姿勢、正しいと思います。
- (11) 一行ホテル出発 黒のキャデラックリムジンとピンクと思われるリムジン

ンの2台。「Paul ,Please be happy with Jane ¹」の紙の横断幕を捧げる女子が沿道で泣いている。これ、「ポール、どうかジェーンとお幸せに」を英語で言おうとしたのだろう。その前をビートルズのリムジンが。たくさんの女子のナミダ、ナミダ。次のシーンは議員会館に誘導されたファンの女子。囲いの外の道路にはたくさんの制服警察官。その前をイヌが駆け抜ける。なんかシュールだ。

- (12) 黒キャデラックからおそらくポール、リンゴ、ジョージ、ジョンの順に降りて関係者と握手 (34分12秒～) 日航機 (KAMAKURA) へ。タラップで皆に挨拶し、機中へ。離陸する飛行機²と同じ滑走路を並行して走るバンも警備車両か？ 離陸でこのビデオは終了する。エンディングに工夫を感じますな。

とまあ、ざっと見るだけでも昭和の記録として貴重なものではないか。この情報公開の判決では、ビートルズのメンバー以外の顔は非公開、とされたから、警察幹部の顔も、報道写真等で公になっている関係者の顔もみなモザイクがかかっている。しかし、これを実際に見ても、不開示決定がなされた2015年2月25日の段階で、容貌を不開示にする必要があった、とは到底思えない。

この映像は、近々市民センターで公開する予定で準備をしている。昭和の記録として、また、個人情報とは何だ、ということを考える資料として、ぜひご覧いただきたい。ビートルズファンと情報公開に関心のある皆様、必見と言ってしまおう。

(了)

¹ 当時ポールマッカートニーはジェーンアッシャーという女性と婚約していた。日本のファンの間でも知られていたのですな。

² 次の行き先のフィリピンでビートルズはマルコス夫人の歓迎パーティーへの参加を断ったため、支持者から殺されそうになった、と言われている。